

世界レベルのバスケットボール選手 八村塁がロボットに変身！

鍛え抜かれた世界レベルの肉体美を披露 新WEB動画「ロボット塁」篇を公開

rapperのKEN THE 390の八村塁のオリジナル楽曲使用

マキタ 八村塁×KEN THE 390 特設サイト URL : <https://makita8.com/>

マキタ公式YouTubeチャンネル「Makita Products」 URL : <https://youtu.be/HfMJA9d1nAs>

株式会社マキタは、2020年3月よりイメージキャラクターに就任した、バスケットボールプレーヤーの八村塁選手を起用したオリジナルコンテンツの第2弾として、新WEB動画「ロボット塁」篇を3月27日AM4時から“マキタ 八村塁×KEN THE 390 特設サイト””および、マキタ公式YouTubeチャンネル「Makita Products」で公開します。



新WEB動画 「ロボット塁」篇より

新WEB動画は、世界的なバスケットボールプレーヤーの八村選手が、マキタの40Vmaxバッテリーを装着し、ロボットとなって超人的な動きを見せるというストーリー。暗闇の中、身長203cmの八村選手が白煙に紛れてゆっくりと起き上がる（起動する）姿は圧巻。動画の中では新商品である40Vmaxバッテリーの“スピード”“パワー”“粘り”を八村選手がプレーで表現し、最後にはバスケットコート全体に響き渡るほどのボリュームで雄叫びをあげます。

ロボット役でありながら、八村選手の等身大の力強さや存在感が際だったWEB動画です。

新WEB動画「ロボット罇」篇



リリック

抜き去る あっちゅうまに ディフェンス
誰も敵わない そのスピード
何度でも圧倒 ギリギリとこで違いでる
その粘り
パワフル 确实 No.1 未だ見たことない
そのパワー
これが次世代 描き出す世界
出たな40VMAX

新たなラインナップ
40VMAX シリーズ
ドライバドリル
ディスクグラインダ
インパクトドライバ
マルノコ
始める 現場でショータイム
全て 高出力 高耐久
Makita

◇ダンクシュートからの渾身の「YES！」

八村選手の代名詞でもあるダンクシュートですが、カメラで撮影されながらの慣れない環境に、「どうやって（ダンク）やれば良いんですか？」と、つい、監督に質問。しかし、ダンクシュートをしたことない監督は「僕に聞かないで下さい」と一言漏らし、現場が笑いに包まれました。ダンクシュートを決めた後は、ガッツポーズをしながら、「YES！」と雄叫びをあげるシーンの撮影。カットを重ねるうちに迫力が増し、本当の試合でもこんなに叫ぶ八村選手は見られないと、スタッフ一同息をのむ瞬間でした。

◇スタッフと一緒にスモークを仰ぐやさしい一面も

八村選手がバッテリーを装着し、立ち上がるシーンでは雰囲気を出す為にスモークを炊いて撮影しました。しかし、一度出してしまうとなかなか消えないスモーク。そこで、うちわやパネルを使って、スタッフ総出でスモークを仰いでいると、八村選手も自らパネルを持ってスモークの追い出し作業を手伝って下さいました。撮影中も明るく、スタッフにも協力的で終始“神対応”だった八村選手。短い撮影時間の中でスムーズに撮影を行う事ができました。

一方で、撮影合間のインタビューで、「嫌いなものはありますか？」と伺うと、「犬や水が苦手で、実は嫌いなものはたくさんある」と暴露。日本人初のNBAの1巡目指名を受け、今回も超人的な動きを見せるロボットに扮して演技をしていただいた八村選手の意外な一面を垣間見られた瞬間でした。

◇シュールだけどころかカッコいいグラフィック撮影

今回のWEB撮影では、マキタ製品のグラフィック撮影も同時に行われました。バスケットユニフォームを着た八村選手が、充電式草刈り機や充電式チェーンソーを持ってポーズを決める姿はシュールではありますが、その佇まいはスーパーヒーローを彷彿とさせるようなカッコよさでした。実は、以前のインタビューで、「マキタさんにスポンサーについて頂いたので、おばあちゃんの家のお庭の手伝いを出来たらいいなと思います。」と語っており、このグラフィック撮影は八村選手にとっても良いイメージトレーニングになったのではと思います。

出演者プロフィール



八村塁 (ハチムラルイ)

1998年2月8日生まれ 富山県出身

203cm 102kg

奥田中時代にバスケットボールを始め、宮城・明成高校で、全国高校選抜優勝大会3連覇を達成。U-17世界選手権で得点王に輝く。強豪の米ゴンザガ大へ進学し、3年生の2018-19年シーズンは1試合平均19.7点、6.5リバウンドを記録。今年6月、バスケットボールリーグドラフト会議で、1巡目の全体9位で指名された。

KEN THE 390 (ケンザサンキューマル)

1981年6月17日生まれ

ラッパー、音楽レーベル”DREAM BOY”主宰

フリースタイルバトルで実績を重ねた後、2006年アルバム「プロローグ」にてデビュー。近年は、テレビ朝日にて放送中のMCバトル番組「フリースタイルダンジョン」へ審査員として出演。

リクルートタウンワークなどのCM、舞台、映像作品への参加。ヒプノシスマイク などジャンルを超えた様々なプロジェクト、アーティストへ楽曲を提供。



WEB動画 概要

タイトル	「ロボット壘」篇	
出演	八村塁(バスケットボールプレイヤー)・KEN THE 390(ラッパー)	
リリース日	2020年3月27日(金) AM4時	
楽曲	「ROBOT RUI」(作詞:KEN THE 390)	
公開先	マキタ 八村塁 × KEN THE 390 特設サイト URL: https://makita8.com/ マキタ公式YouTubeチャンネル「Makita Products」 KEN THE 390さん公式インスタグラム/ツイッター	
企画・制作	(株)電通中部支社	
制作スタッフ	<p>CD(クリエイティブディレクター) 都築徹 PL(プランナー) 都築徹・小路翼・東裕希 C(コピーライター) 都築徹 AD(アートディレクター) 小路翼 D(デザイナー) 白澤真生 P(プロデューサー) 宮下直樹 PM(プロダクションマネージャー) 伊藤夏美 DR(演出) 長添雅嗣 CA(カメラマン) 吉田好伸 L(ライトマン) 尾池将成 ST(スタイリスト) 山田直樹 CG 須永浩光 ED(編集) offline/塩山俊圭 online/遠藤俊介 MA(ミキサー) 大高真吾 CAS(キャスティング) 松井優</p>	<p>タレント 八村塁 音楽プロデューサー KEN THE 390 音楽ディレクター 草野和洋 作詞 KEN THE 390 作曲 GUNHEAD 歌手 KEN THE 390 ロケコーディネーター 高山輝之 PR(public relations) 東裕希・根本陽平・関司 AE(営業) 成田互・黒川剛司・長瀬正尚・森広晴章 製品紹介パート P(プロデューサー) 近藤幹也 DR(ディレクター) 市岡秀紀 アシスタントディレクター 成瀬大策・井上実歩 CA(カメラマン) 安樂敦史 撮影助手 杉浦航也 L(照明) 土屋輝</p>

商品概要:40V MAX シリーズ

【商品ラインナップ】

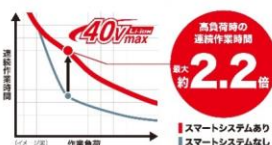


- ・充電式インパクトドライバ TD001G
- ・165mm 充電式マルノコ
- ・充電式ドライバドリル DF001G
- ・充電式震動ドライバドリル HP001G
- ・165mm 充電式スライドマルノコLS001G
- ・28mm 充電式ハンマドリル HR001G
- ・充電式ディスクグラインダ
- ・充電式レシプロソー JR001G

【商品特徴】

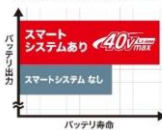
① 当社独自の「スマートシステム」搭載により、パワーアップ&バッテリー長寿命化

パワーを最大限に引き出し
高負荷時の作業時間アップ



パワーアップと
バッテリー長寿命化を両立

連続した高負荷作業時においても長寿命を実現。



② 優れた耐落下・衝撃性能



バッテリーレールの幅や高さをアップ。
ハイパワー製品にも耐えるレール強度。



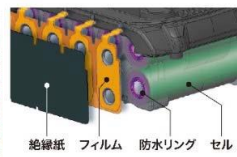
セルホルダ角部の剛性をアップ。
さらに空間を設けて衝撃も吸収。

耐衝撃性
約 **40%** アップ

③ 『IP56』にも対応※した防じん・防水機能



端子間に壁を設け、水や粉じんの侵入による短絡を防止。



セル端面を3層構造にする事で、水や粉じんの侵入によるセルの故障を防止。

IP56
防じん・防水 保護等級

※バッテリーを装着した場合は、本体側の等級に準じます。粉じんや水によって故障しないことを保証するものではありません。